



赤羽別院報 第21号

発行所 大谷派 宣光寺 赤羽別院 宗羽大番 行真赤行 浅野 輪 伊奈 祐壽師 愛知県幡豆郡一色町赤羽上郷中14 Tel・Fax (0563) 72-2308

人生に絶望はない 中村久子さんに学ぶ



中村久子さんを学ぶ視点

ご縁あって、この赤羽地域教化センターで「中村久子写真パネル展」を開催し、晴天講座でお話をさせていただきます。

写真の久子さんを見てどう感じられましたか。手も足もないのに立派な字を書き、縫い物、編物もできる。すごい人もいます。これだけでしたら久子さんに学ぶことになりません。皆さんの町や村にも、障害はあるけれど朗らかに生きておられる方はあるでしょうか。では、なぜ中村久子なのか、という一点を先ず考えてみたい。

身体への満足・心の満足

「両手両足がないのが有難い」と久子さんは言われたが、我々有難いことと思えますが、大体のうちに反する言葉ですよ。生まれる前は男の子がいい、女の子がいいといっていますが、男でも女

でもいい、五体満足に産まれて欲しいと願うでしょ。手足なき児を願いはしません。そもそもいのは満足求めている。物質的にも精神的にも久子さんは心の満足に出遇っているのです。心の満足に出遇ったからこそ、身体

の障害を喜びに変えた人です。逆に心の満足に出遇っていないと、たとえ五体満足でも不満だらけの生活になっていく。ではどのようにして心の満足・手足がないのが有難いことになったのか。

現実を引き受けてこそ

久子さんの七十二年の生涯を貫いて発見した真実は「現実を引き受けたところ」にしか真実はない」という一点です。「現実」を別の言葉に置き換えてみましよう。真実を「喜び、幸せ、悲しみ、苦しみ」に置き換えてみる

現実を引き受けてこそ

久子さんの七十二年の生涯を貫いて発見した真実は「現実を引き受けたところ」にしか真実はない」という一点です。「現実」を別の言葉に置き換えてみましよう。真実を「喜び、幸せ、悲しみ、苦しみ」に置き換えてみる

南無阿弥陀仏のこと

「現実を引き受けたところ」にしか真実はない」という「現実」は、実は南無阿弥陀仏のことなのです。現実を引き受けたところにお念仏が申されてくる。逆にいえば、お念仏申すところに現実を引き受けていく勇氣と力があることをいっているのです

三島多聞 師(みしまたもん)

一九四四(昭和十九)年 岐阜県高山市に生まれる。京都外国語大学卒業後、大谷大学大学院 宗教学修士課程修了。大谷大学大学院 宗教学修士課程修了。二〇〇五年九月 宗教学部 宗教学科 主任。中村久子史蹟顕彰会 代表。主著書「浄土師範 花びらの一片」「花びらの片、中村久子の世界」 華大中央出版 など多数



写真パネル展会場

夏期晴天講座の講話をもとに、三島師から寄稿いただきました。中村久子女士の生涯から「人生に絶望はない」ということを学ぶ貴重な法座となりました。

去る七月十五日、五十年振りに「夏の御文」が再開されたことをご縁として、平成七年に設立された「赤羽別院地域教化センター」が併せて開催されました。地域総代会は、各寺から選任された「総代」により編成され、別院が勤める法座等にお詣りする一方で、別院から門徒への情報伝達のお手伝いをしていただくのが目的でありました。

赤羽地域教化センター設立以降、各種の充実した教化活動が展開されていますが、その内容が十分に崇敬地域の寺院・門徒に伝っていないのが実情です。そこで、地域総代会を発展的に解消し、新たに「聞法」と「おとり持ち」を主たる目的とした「赤羽別院崇敬地域世話方を

1月13日(水)第9組	良興寺	三浦 真教師
1月28日(木)第9組	通因寺	大谷 肇師
2月13日(土)第10組	蔵西寺	藤原 肇師
2月28日(日)第10組	明泉寺	御膳 透師
3月13日(土)第11組	惠教寺	大河内正憲師
3月28日(日)第11組	唯法寺	占部 寧師

門徒の声

お寺・お経

私が小・中学生の頃、正月の報恩講前の十二月になるとお経さんを習いに教会に集ったものだ。お経の名や意味は全く解らなかつたが、お経の前に子供同士でトランプや将棋などで遊ぶ楽しみのため、夕食を早めにするまでお寺へ出かけた。

報恩講では、中学生は泊まることになり、遊びを通して、いつでも誰とでもおしゃべりができたことで、連帯意識を育むことができた。

3月20日(土)午後1時	法話 第14組	報恩寺	石川 勇吉師
3月21日(日)午後1時	法話 第10組	永寛寺	野々山洪美師
3月22日(日)午後1時	法話 第8組	専念寺	羽向 智洋師

双全講

1月15日(金)午前10時・午後1時
法話 第8組 安楽寺 伊奈 祐壽師

真宗講座

講座「報恩講和讃に聞く」
第1回 2月12日(金)午後2時〜4時
第2回 3月12日(金)午後2時〜4時
第3回 4月12日(月)午後2時〜4時
講師 桑名市 西恩寺 池田 勇諭師

別院行事のご案内

春季彼岸会 じんぎがらんえ
3月20日(土)午後1時
法話 第14組 報恩寺 石川 勇吉師
3月21日(日)午後1時
法話 第10組 永寛寺 野々山洪美師
3月22日(日)午後1時
法話 第8組 専念寺 羽向 智洋師

お寺の掲示板

今 人間が音をたててくずれている。そして、人と人との間柄がなくなっている。無間地獄という第12組、浄徳寺

さんさん 祭々・恭賀新春・2010年

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

旧年中は、赤羽別院の運営や教化センターが取り組む事業に対し、格別のご理解とご協力を賜わり厚くお礼申し上げます。この間には幾多の問題を解決し、一昨年には懸案であった「赤羽地域教化センター」を発足させ、本格的な教化活動に取組む体制が確立され、着実な歩を進めております。当別院では、本年を「宗祖親鸞聖人七百五十回御遠慮お侍り受大会」を執行する特別な年と位置づけ、全力を挙げてこの事業の完遂を目指します。

赤羽別院とともに 寺院・門徒の活性化を目指して

赤羽別院親宣寺 輪番 浅野 伶



赤羽別院の再生という重責を担いながら輪番に就任し、最初に取り組んだ法要は、「報恩講」であります。年々充実した内容の報恩講を執行し、参詣者も増えつつあります。

その一方で「教化センター」の発足をめざし、その組織編成と資金確保のため、関係者で何度も検討を加えました。その結果、輪番をセンター長とし、事業のまとめ役である「主幹」のもとに、法要・儀式をつかさどる「儀式部」、教化・伝道を推進する「伝道部」、青少年・老人問題等に取り組み「若し部」、機関紙「赤羽御坊」をはじめ、ホームページの開設などを担当する「広報部」の四部門で組織される「赤羽地域教化センター」が誕生しました。

(2010年)本山で執行されるのを機に、本年十月頃に、御門首をお迎えして、「岡崎教区赤羽別院お侍り受け大会」を是非執り行いたいと考えています。その内容の骨子は、報恩講の執行とあわせて「同朋唱和勸行集」の助音講の育成、「掃部式の実践」、御遠慮忌「マ」今、いのちがあなたを生きてい

次なる飛躍のために あなたも教化スタッフに

赤羽地域教化センター 主幹 藤原 肇



赤羽地域の共同教化の拠点として教化センターが発足して、間もなく2年が経過しようとしています。それまでの赤羽別院の事業を精選・継承しながら、新しい活動を進めてきた教化センターの仕組みを紹介いたします。

別院輪番が兼ねる教化センター長をトップとして、実務を統括する主幹のもとに、儀式部・伝道部・若し部・広報部の4部門で組織し、スタッフは総員34名で崇教区内95ヶ寺の4割弱のお寺から集まっています。7ヶ組から各々4〜6名で、寺族30名(住職19名・坊守3名・若院8名)と門徒4名、男30名・女4名、年齢は20〜30歳代30

赤羽別院・正月行事

除夜の鐘・初鐘
大晦日 午後11時30分より
先着順にどなたでも鐘撞ができます。

修正会(しゅしょうえ)
元日 午前7時より
法話 赤羽別院 輪番 浅野 伶師
隣人・知人お誘い合わせのうえ是非おでかけください。

人間模様 3

家庭内でのお勤めがおろそかにされる風潮にある昨今、西尾市野島町 石川虎幸さんのお宅では、先日ご先祖の年回忌法要を勤められた。手作りのお華束や額に納められた御文等々お勤めの始終に、この法要に込めた家族や親戚の思いがひしひしと伝ってきた。

お仏壇の御荘厳のお華束(かで、改めて先祖の大切さという団子)は手作りのようですが、りがたさを教えていただき、心石川 はい。先祖代々なのです。からのお念仏を感じさせられたレシビを残しておいてくれ、次第でありました。子供も混み込んで作りました。子供も混んで結構楽しいものです。最後に、石川家恒例の家族と石川 前日もこの日のために、みんなで正信偈と御文を練習したんです。

御文が大きな額に飾ってありますか？
石川 兄に「宋代无智」を書いてもらい、兄弟で御文の内容についても話合いました。「蓮如さんはこう言っておられるけど、親鸞さんも本当にそう思っておられたのかな」とか。



お華束づくり

第1回 投稿俳句会

初めての企画で暮らし部を添えて称えました。が募集した俳句には、応募作品は全てお佛堂に学生から一般の方々併せて展示しておりますのでご覧26名・94もの多数の応募をいただきました。ご坊さんを身近に感じていただき、日々の暮らしの中で生の声を聞く場をいただきました。

報恩講が営まれた10月15日、最優秀作の詠み人10名として今後も継続する予定をおおきし、賞状に記念品です。(石川祐記)

最優秀作品(順不同) 選者 田中昭二・三浦亨子

木浅れ日を 楽しむ如く 揚羽蝶
赤くてふ この喜び 花野ゆく
手花火を 暫し楽しむ 生身魂
団扇絵に 楽しき風の 生まれけり
百姓の 雨を喜ぶ 早畑
治める子を 待つ楽しみの 盆用意
正信偈 唱ふよろこび 報恩講
喜びは 御堂の夏の 講座かな
鐘つきて よろこびはねる 子供達
弥陀の教へ 聴く喜びや 蓮の朝

鎌田 時枝
山田 裕美
近藤 芳正
東脇 妙子
名倉美枝子
蓮沼たけし
谷 水甫
石川 正幸
田境 千枝
古賀 敦子

御本山御用達
株式会社 北六法衣店
法衣 打敷 幕 雅児袋衣装
その他多数用意しております
カタログ御請求下さい

〒600-8153
京都市下京区間ノ町通り正面角(キコクテイ前)
TEL 075-371-7705(代) FAX 075-371-2407
E-mail:kitaroku@s6.dion.ne.jp

社寺建築・設計施工
文化と匠に挑戦する
エア―断震システム
資料請求可・ご説明に伺います

株式会社 中村社寺

本社/〒491-0866 一宮市城崎通7丁目4番地の3
TEL(0586)71-7821(代) FAX(0586)73-1190
東京支店/〒104-0061 東京都中央区銀座7丁目12-7
TEL(03)3544-0234(代) FAX(03)3544-0232

京仏壇京仏具・お仏具ご修復
ご本堂内装・お納骨壇

創業 安永4年(西暦1775年)
京仏具 **小堀**
http://www.kobori.co.jp/
京仏壇・京仏具の製作現場をご覧になっていただけます。
ご希望の方は、事前に本店へお申し込みください。

本店/〒600-8159 京都市下京区烏丸通正面角上
TEL(075)341-4121(代) FAX(075)341-4128
☎(本店)0120-27-9595 (受付時間8:00~18:00)
Eメール(本店)info@kobori.co.jp 無料冊子をどうぞ

東京店・養馬店・播磨店・札幌店・小堀京仏具工房
寺務ショップ http://www.kyo-butsumo.jp/

